

# 探究通信第2号 「個人探究」について

令和6年1月22日 都立小金井北高校 探究委員会

## 2年次の個人探究

小金井北高校では、44期生から2年次の「総合的な探究の時間」等で「個人探究」を実施することになりました。個人探究では、個々の生徒がテーマを設定し、自ら調査を行い、その結果などを論文の形で発表します。この活動を通して、高校卒業後にも有益となる生徒の思考力・表現力を高めることを目的としています。また、近年、大学入試が多様化し、筆記試験のみの一般入試だけではなく、総合型選抜や推薦入試の形式も増えてきました。普段の授業だけではなく、個人探究を通して学問に対する興味・関心を呼び起こすことで、生徒の進路実現にも対応できるような狙いもあります。

## 「マイブーム」から「マイテーマ」への探究

1月10日、17日の2日間にわたって、44期生は①探究活動について、②「問い」とは？ ③先行研究とは？ ④進路選択と学問の関係、⑤情報の引用と剽窃（ひょうせつ）、⑥研究手法といった内容について講義を受けました。

探究活動に関する講義においては、AIや技術革新により「消える仕事」がある現代において、『「ない仕事」の作り方』を出版したみうらじゅんさんの話も登場しました。みうらさんは、「マイブーム」や「ゆるキャラ」という言葉の生みの親。みうらさんの「無駄な作業が、逆に知識を豊かにしてくれる」、「ひとつのものに夢中になると、自然とそこから派生するものも頭のどこかにストックされていき、それが新しい仕事に繋がっていく」という仕事術が、探究や勉強につながる姿勢であることが紹介されました。

## インスタントラーメンやカップ焼きそばも探究できる？！



これも探究の題材  
にできる！

「問い」をいかにつくるかの話においては、政治学者の原武史さんの大学講義の話が紹介され、「インスタントラーメン」や「カップ焼きそば」など生徒の周りにある身近なものも、探究テーマになることも紹介されました。また、カップ麺の歴史を紐解くと…あさま山荘事件でのテレビ中継がカップヌードルの宣伝に一役買ったという話もされました。

## 剽窃（ひょうせつ）…これもフィールドワーク？

ひょうせつ…難しい言葉ですが、要するに文章や考えの盗作ということです。論文を作成する上で、「コピーはダメですよ」という注意も受けました。また、様々な研究手法がある中で、「フィールドワークは自然観察だけではないですよ」というお話も。原武史さんの「西武線沿線にはなぜ公団の団地が多かったのか？」という研究が、建築史、鉄道史、政治思想などの資料を解読するだけではなく、実際に現地を訪れて分析されている、という好例も紹介されました。

## 1年3学期の目標は

44期生はこれから個人探究のテーマ、該当する学問を調査し、できれば「問い」の作成を検討していく作業に入ります。どのような探究テーマがでてくるのか、楽しみです。



西武線と公団団地、そして政治思想？  
実はつながりが…